商務情報政策局　情報経済課
03-3501-0397

Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業

令和３年度予算額　21.0億円（21.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- データを巡るグローバル競争の主戦場は、バーチャルデータからリアルデータを活用したビジネスに移行しています。ここで日本の強みである現場の良質なデータを活かし、データを介して機械、技術、人などが繋がることで、新たな付加価値創出と社会課題解決を目指す「Connected Industries」の実現が重要です。
- 本事業では、企業の垣根を越えた、協調領域におけるデータ共有・連携を促進し、そのデータをAI等の先端技術を用いて利活用することで、世界に先駆けた新たなデジタルサービスを創出することを目指します。
- 具体的には、Connected Industries重点5分野(「自動走行・モビリティ」「ものづくり・ロボティクス」「素材・バイオ」「プラント・インフラ保安」「スマートライフ」)において、①事業者間のデータ共有プラットフォームの本格構築を支援し協調領域データの利活用環境を整備すると同時に、②そのデータ等を用いた国際競争力のあるAIシステム（クラウドを用いてサービス提供するもの）の開発を支援します。

成果目標

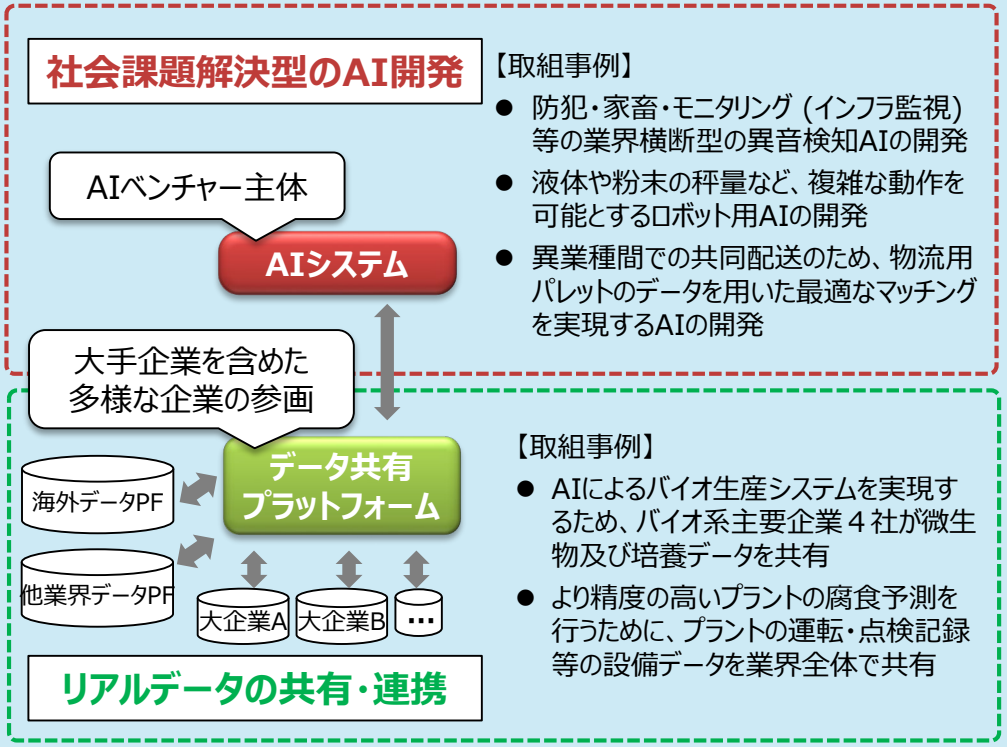
- 重点5分野で、それぞれで２以上の国際競争力のあるAIシステム（クラウドを用いてサービス提供するもの）の創出を目指し、令和4年度以降速やかに事業化に至る段階まで開発を進めます。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

事業イメージ

（１）データ共有プラットフォーム構築事業

- Connected Industries重点5分野の協調領域におけるデータ共有プラットフォーム構築及びグローバルな連携を見据えたプラットフォーム間連携
- システム間で連携する際のアーキテクチャ（共通技術仕様）を踏まえて構築を行う。

（２）AIシステム開発支援事業

- AIベンチャーを中心とした、国際競争力のあるAIシステム（クラウドを用いてサービス提供するもの）の開発